

4. Mayenga村の井戸設置による給水と菜園緊急支援(ウガンダ)

- ・ 実施団体: CUWEDE COD LAB (#105)
- ・ 実施地: ウガンダ北部地域ネビ県エルシ副郡パドロ行政教区Mayenga村
- ・ プロジェクト予算: 2,716ドル
(JWFファンド1,500ドル、ウガンダNGO:CEMA340ドル、団体476ドル、受益者400ドル)
- ・ 受益者数: 760人(男性200人、女性400人、子ども160人)
- ・ 実施地の水問題:

Mayenga村の水源は主に季節変動する水無川で、他には汚れた滞留水や老朽化したため池に依存しなければならない。安全ではない表流水を利用せざるをえないため、住民の疾病事例10件のうち8が水系感染とされ医療費で貧困が加速する。干ばつなどの気候変動の影響で水源が不安定になったため、各家庭の菜園も脅威にさらされている。今回のプロジェクトでは村に井戸を新たに掘削して、水中ポンプを調達するNGO・CEMAと協力して安全で十分な水量を確保したい。



村の水源として利用されている小川



滞水した古いため池



干ばつで立ち枯れる村のメイズ

- ・ 主な活動内容: 10メートル以上掘削した手掘り井戸1カ所と水中ポンプ設置、水質試験。
村の中心部に給水栓の設置。家庭用菜園の簡易かんがい施設の設置運用、水利用者委員会の結成と月例活動の推進、子ども衛生活動、住民向け衛生と施設維持管理等。
- ・ 特長(持続性): 関係者の連携と調整により適切な水供給の質と食料安全保障の向上を図る。
受益者も財務を支えるため戦略策定に参加して、所有者として責任のある運営と維持管理を行う。実施団体はステークホルダー達との調整と能研修を継続して、本プロジェクトの成果を持続させる。
- ・ 実施団体: 2006年に設立された、ネビ県を中心に活動する登録非営利団体。WASH啓発、環境保全、国内外の市民ネットワークを通じて幅広いアドボカシー、人権擁護、青少年のエンパワメントに取り組んでいる。JWFファンド2018受取団体。